

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書
【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

信濃の国の家

グループの名称

信州の森林と家をつなぐ研究会

直近採択グループ番号

06-0799-0377

(グループ代表者)

代表者名

藤巻 淳一

代表者印

代表者所属先

軽井沢フジホーム株式会社

代表者所在地

長野県北佐久郡軽井沢町発地2591-57

代表者電話番号

0267-45-2988

(グループ事務局)

事務局事業者名

ナイス株式会社 長野営業所

事務局担当者名

高田 剛治

印

事務局郵便番号

381-0004

事務局所在地

長野県長野市大字大町580-1

事務局電話番号

0262-96-9111

事務局FAX

0262-96-9602

事務局担当者E-mail

koji.takada@nice.co.jp

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世帯同居対応加算要望戸数 (必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		31	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	31	戸		
					上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	3	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		10	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	10	戸		
					上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸		
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		15	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	15	戸		
					上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	2	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		4	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	4	戸		
					上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸		
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		2	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸		
					上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)		戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)			戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸		
					上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸		
		高度省エネ型	認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		6	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	6	戸	
						上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	1	戸	
					その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)			戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸	
						上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸	
高度省エネ型	性能向上計画認定住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		2	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸			
				上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)		戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)			戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸			
				上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸			
	高度省エネ型	性能向上計画認定住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		4	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	4	戸		
					上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)		戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)			戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸		
					上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸		
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		8	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	8	戸			
				上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	2	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		1	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸			
				上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸			
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		3	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	3	戸			
				上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)		戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)			戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸			
				上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸			
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		1	棟			
					116	m ²			
			その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積			棟			
						m ²			
長期優良住宅、認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロエネルギー住宅は、未経験かつ実需優先として分配する。優良建築物は、実需優先として分配する。いずれも役員会にて審査・分配を行う。□									
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール (必須)									
E. 平成29年度の執行状況 (必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	11	戸	交付申請戸数	11	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	11	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)								
採択戸数	4	戸	交付申請戸数	4	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	4	戸	
優良建築物型									
採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
採択床面積	0	m ²	交付申請床面積	0	m ²	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	m ²	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 信濃の国の家	(地域型住宅供給対象地域) 長野県・山梨県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 信州の森林と家をつなぐ研究会	(結成年) 2012 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0799-0377	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】	◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	○
④①～③の背景	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	◎

イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】	◎、○ 記入欄
a	
①-1 用材の寸法規格化	◎
①-2 使用建材の統一	◎
①-3 標準仕様の設定	◎
②-1 建材・資材調達共同化	◎
②-2 調達事務の合理化	○
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	○
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	◎
b	
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	○
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	○
c	
① 週休2日制の導入の取組	◎
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	◎
③ 社会保険への加入	○
④ 安全及び健康の確保のための取組	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	◎

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 信濃の国の家	(地域型住宅供給対象地域) 長野県・山梨県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 信州の森林と家をつなぐ研究会	(結成年) 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0799-0377	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成30年度対応方針】			◎、○ 記入欄	
a	① 住宅履歴情報の蓄積	①-1 内容・蓄積の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 長寿命型は、履歴情報機関(いえかるて等の第三者機関)を利用する。	◎
		①-2 情報サービス機関の活用	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 長寿命型は、いえかるて等の第三者機関を利用、引渡後30年以上の修繕計画書を作成する	◎
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局にて履歴情報機関の登録確認	○
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ共通点検チェックリスト作成及び点検回数・間隔を定め、定期点検の均質化を図る。	○
		②-2 補修の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 修繕計画に沿った点検・補修を行う	○
		②-3 点検補修実施の確認手法	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 外壁や屋根、設備機器の点検時期をアラーム管理出来るシステム利用を推奨する	○
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が主体となって、住宅に関する研修会・講演会を行う	◎
		③-2 DIY体験会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 流通製材業者の展示会等に参加する	◎
		③-3 その他の相談会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: フラット35・すまい給付金・省エネ基準・国産材の利用促進・BELS認証利用促進等勉強会を行う	◎
	④ 維持管理委員会等の設置	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 維持管理検討委員会を設置して、成功事例については、施工構成員に周知徹底させる。	○	
⑤ その他の維持管理の手法	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 年に1回以上(盆・暮れ等)カレンダーやオルを持って住まい手を訪問、家の不具合を確認する	○		
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が他の施工構成員を紹介するなどして、バックアップする。	◎	
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 瑕疵担保保険会社やBELS認証団体による研修会等の実施	◎	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		団体構成員は個人情報保護について、その重要性を認識し保管体制に責任を持つ旨の「個人情報保護方針」を定める	○	

エ. グループの技術力の向上

【平成30年度対応方針】			◎、○ 記入欄
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工構成員の省エネ講習会受講をルール化する	◎
	②-1 品質管理のための共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 高度省エネ型は平成28年度省エネ基準を標準仕様とする	◎
		②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 交付申請等の際に事務局で確認する
	③-1 需給計画の策定	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 今後の地域材の需給計画を策定する	○
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 2020年に迫る省エネ基準の義務化に備え、外皮や一次消費エネルギー計算の研修を行う	◎
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局及び施工構成員は標準仕様を作成し流通構成員は標準仕様作成支援を行う。	○
	b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 27 今年度の参加目標人数 5
①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数		昨年度までの終了者数 27 今年度の参加目標人数 5	○
② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組		<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 未受講者リスト化して、地域の講習予定を連絡するとともに強く受講を勧める	◎
c	① 新たな技術等の導入	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 研修会・勉強会等で成功事例の発表を行い、グループ構成員の意識・技術の向上を図る	○
	② 新たな技術等の開発	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 研修会・勉強会等で取り上げられた事項に対し、会の同意を得て予算を与えて実証実験等を行う	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 信濃の国の家	(地域型住宅供給対象地域) 長野県・山梨県	
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 信州の森林と家をつなぐ研究会	(結成年) 2012年	
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0799-0377		
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。			
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与			
【平成30年度対応方針】			
a		◎、○ 記入欄	
①	地域材利用に関する共通ルール(必須)	土台：信州木材認証制度の信州桧又は合法木材証明制度(国内)の桧・赤松、合法木材証明制度(国外)のペイマツ 柱：信州木材認証制度の信州桧・信州杉・信州唐松又は合法木材証明制度(国内)の杉、桧 梁・桁：信州木材認証制度の信州杉・信州桧・信州唐松・信州赤松 又は 合法木材証明制度(国内)の杉・赤松、合法木材証明制度(国外)のペイマツ つきまして新築は、主要構造材についての地域材利用を50%以上とする。ゼロエネ改修は、フローリングや羽目板など内装材の一部に信州木材認証製品を使用する。	◎
②	地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上	◎
③	標準的な地域材の使用部位(必須)	主要構造材 土台： <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 柱： <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 梁・桁等の横架材等： <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 羽柄材 間柱、根太、垂木等： <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している 造作材 桟材、廻縁等： <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している 板材 壁板、床板等： <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	◎
④	地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	<p>・合法木材の一部においては産地・出荷者が多岐にわたり原木供給の特定困難な場合は、製材構成員等の合法証明によって代替する。 ・建材流通もしくは施工業者がプレカット工場に認証材を持ち込み加工する場合がある。 ・左図は代表的なフロー図である為、例外的に異なる場合がある。</p>	
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容：在庫情報を事務局にて定期的にEメールもしくはFAX配信する。	○
①-2 地域材価格の共有の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容：相場情報を事務局にて定期的にEメールもしくはFAX配信する	○	
② グループ全体における地域材の需給予測	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容：1棟当たりの平均使用量を6㎡として、仮に167棟の配分があった場合には約1000㎡を需給できる体制作りを推進する。	○	
c	①-1 量の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容：今年度の使用予定枚数(1量換算) 72枚 受注棟数の2割に活用する様推進する	○
①-2 和瓦の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容：		
①-3 襖の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容：		
①-4 障子の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容：		
②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容：県産・地域材の展示会案内を行い伝統的な素材の活用を推進する	○	
②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容：		
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容：	
② 地域の住まい方の継承につながる取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容：長寿型・省エネ住宅を推進し、地元イベント等に参加して、地域に提案する	○	
③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容：		
④ 和の住まいの要素を取入れた取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容：地元を中心としたイベントの案内を行う	◎	
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	フローリング、羽目板等、内装材に長野県産材(信州木材認証製品)の使用を積極的に推奨する。また、ポーチ柱や化粧柱、床柱には、磨き丸太の利用を推奨する。	○
カ. その他			
【平成30年度対応方針】			
		◎、○ 記入欄	
	東日本大震災の復興に資する取組	セイホクの針葉樹合板、気仙木材加工の破風板、貫、野地板、けせんプレカット事業協同組合の貫、共力櫓の杭など被災エリアに本社を置く商品を積極活用して東日本大震災の復興に寄与していく	◎
	平成28年熊本地震の復興に資する取組	新築合板商品を積極的に活用して、熊本県地震の復興に寄与していく	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) 信濃の国の家	(地域型住宅供給対象地域) 長野県・山梨県
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) 信州の森林と家をつなぐ研究会	(結成年) 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	06-0799-0377	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

ゼロ・エネルギー住宅は太陽光発電システムを搭載してエネルギー削減率(R) 100%以上

ゼロ・エネルギー住宅はBELS認証を取得
ゼロ・エネルギー評価方法は平成28年省エネ基準

ゼロ・エネルギー住宅のエネルギー削減率(Ro) 23 %以上

高度省エネ型住宅の開口部は庇やLow-Eガラス、省エネサッシの使用を推奨

認定低炭素住宅・性能向上計画認定住宅は一次消費エネルギー量を10%以上削減



高度省エネ型住宅は高効率エアコン、高効率給湯機の設置を推奨する

落葉樹の植栽で夏の暑さ冬の寒さ対策を行う

優良建築物
・信州認証材の内装材使用を推奨
・開口部に庇やLow-Eガラス、省エネサッシの使用を推奨する

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。